

抗議文

駐日アメリカ合衆国大使館

特命全権大使

ウィリアム・F・ハガティ 閣下

貴国が、ネバダ州の国家安全保障施設において、昨年12月に臨界前核実験を実施しており、また、今後も実施計画しているとの報道に接しました。

核爆発を伴わないとはいえ、臨界前核実験の実施は、今後も核兵器を持ち続ける意思を表したものであり断じて許すことはできません。

本来なら貴国自ら核軍縮の模範となるよう先導すべきであるにも拘わらず、実験を繰り返していることに憤りの念を禁じ得ません。

今後、実際に原爆を体験した被爆者の辛く悲しい体験や、平和への思いを深く理解していただき、核兵器廃絶を願う世界の人々の期待を実現するために、今後、計画されている核実験をすべて中止するとともに、その主導的役割を果たされることを念願してやみません。

今回の貴国の臨界前核実験の実施に対し、非核平和都市宣言自治体として厳重に抗議します。そして茨木市民を代表して、一日も早い核兵器廃絶の実現に向けて努力されるよう強く求めますので、その旨を、本国へ伝達されますようお願いいたします。

2018年10月12日

大阪府茨木市長 福岡 洋

